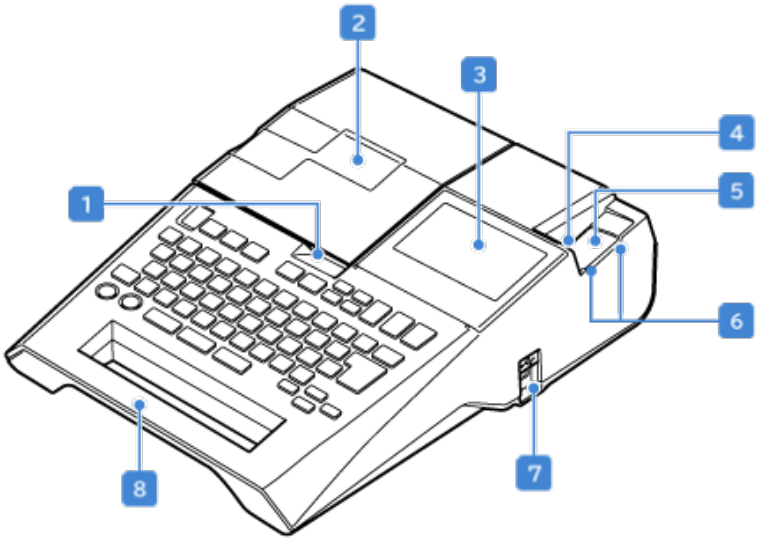
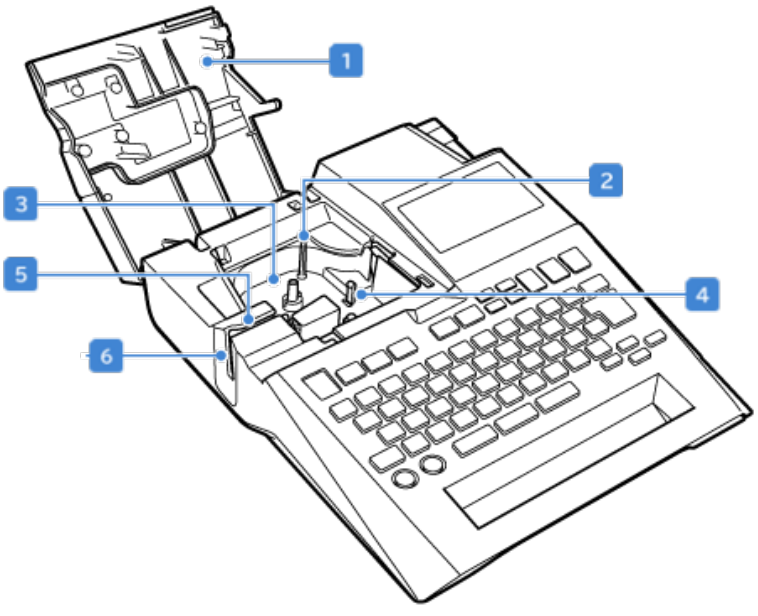
各部の名前

本機各部の名前(表)



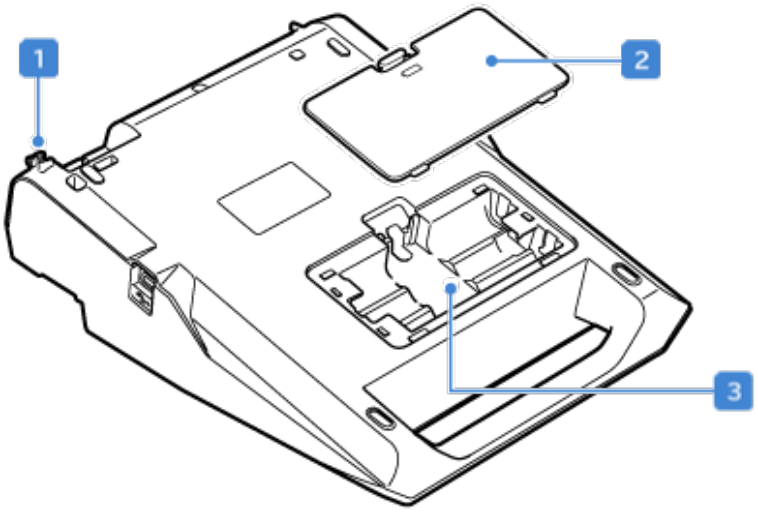
1 上カバーつまみ
2 テープ確認窓
3 ディスプレイ
4 オートトリマー:トリマー差し込み口
5 オートトリマー:トリマーテーブル
6 オートトリマー:トリマーガイド
7 USBコネクタ
8 ハンドル

本機各部の名前(内部)



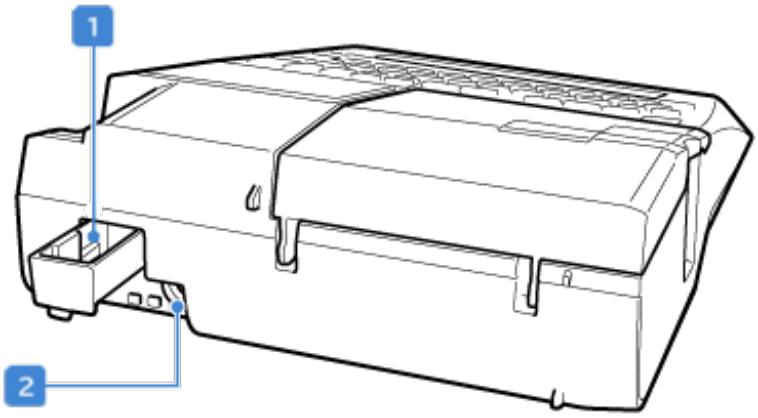
1 上カバー
2 ガイドピン
3 テープカートリッジセット部
4 固定フック
5 テープ通路
6 テープ出口

本機各部の名前(裏)



1 ケーブルガイド
2 電池カバー
3 電池ケース

本機各部の名前(背面)

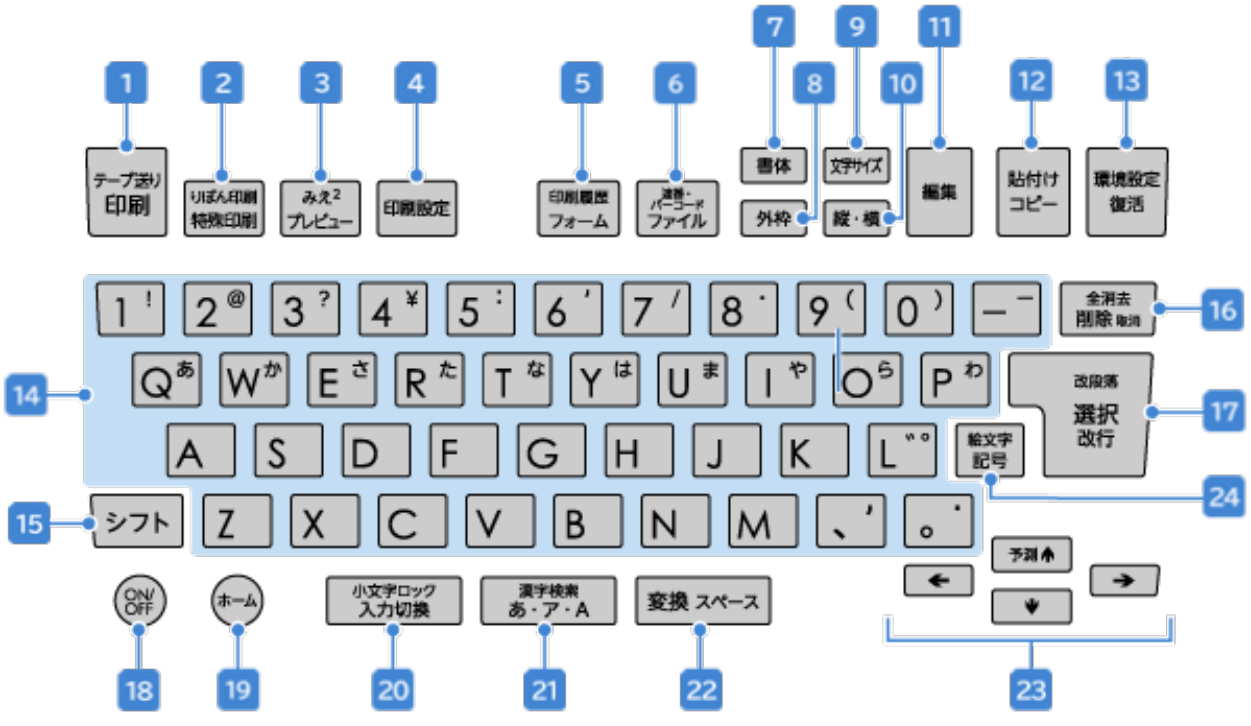


1 トリマーカバー
2 ACアダプタ差し込み口

操作パネルの名前とはたらき

各ボタンの機能

各ボタンの機能を説明します。シフト + [ ] となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押したときの機能です。



1 印刷 (印刷)	入力内容をテープに印刷します。 参照 ☞「ラベルを印刷する」 シフト+ 印刷 (＝テープ送り) テープを約19mm空送り、またはカットします。送り長さを指定して空送りすることもできます。 参照 ☞「5. テープ送りをする」
2 特殊印刷 (特殊印刷)	連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷をします。 参照 ☞「特殊印刷」 シフト+ 特殊印刷 (＝りぼん印刷) りぼん連続印刷、お名前タグ印刷をします。 参照 ☞「りぼん印刷」
3 プレビュー (プレビュー)	印刷イメージを確認します。 参照 ☞「プレビュー機能を使う」 シフト+ プレビュー (＝みえ^2) テキスト画面の表示を切り換えます。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」
4 印刷設定 (印刷設定)	カット設定、印刷濃度、ハーフカット連続の設定をします。 参照 ☞「印刷設定」
5 フォーム (フォーム)	デザインフォーム、ビジネスフォームの呼び出しをおこないます。 参照 ☞「ビジネスフォームを使う」

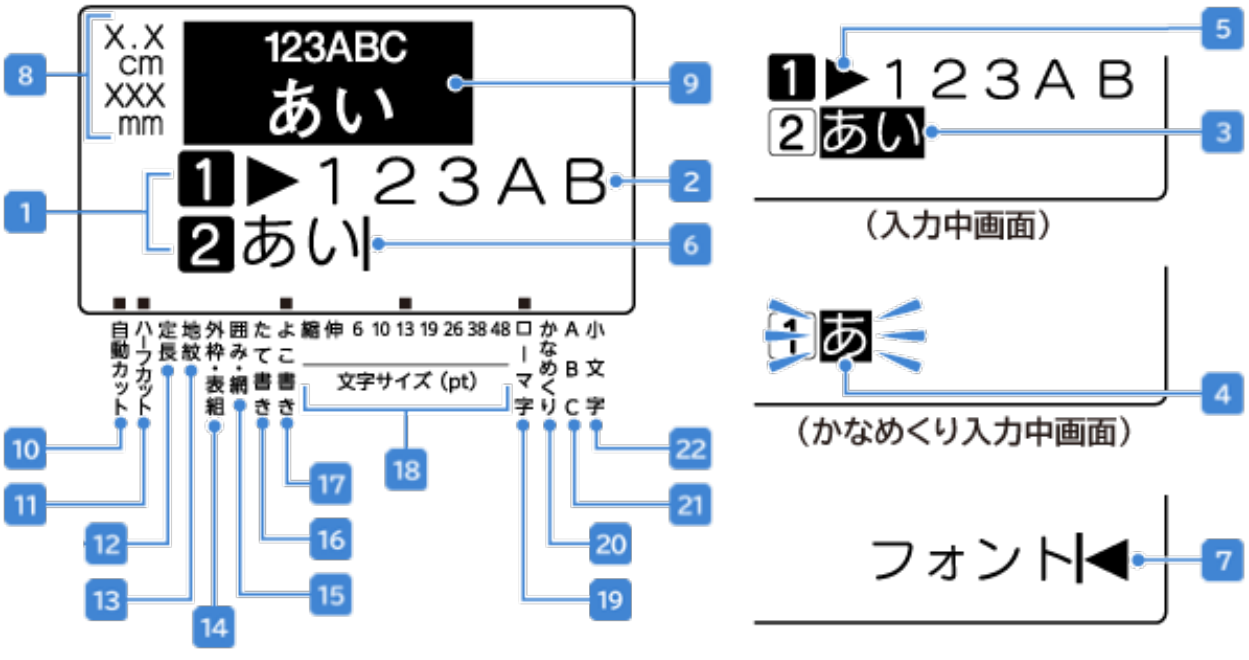
	参照 「デザインフォームを使う」 シフト+ フォーム (＝印刷履歴) 印刷履歴の呼び出しをおこないます。 参照 「印刷履歴を呼び出す」
6 ファイル (ファイル)	作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。 参照 「文章を呼び出す・登録する(ファイル)」 シフト+ ファイル (＝連番・バーコード) 連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。 参照 「連番を入力する」 参照 「バーコード/QRコードを入力する」
7 編集 (編集)	文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。 参照 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
8 縦・横 (縦・横)	たて書き/よこ書きを切り換えます。 参照 「縦・横ボタンを使う」
9 文字サイズ (文字サイズ)	文字サイズを指定します。 参照 「文字サイズボタンを使う」
10 外枠 (外枠)	外枠を指定します。 参照 「外枠ボタンを使う」
11 書体 (書体)	書体を指定します。 参照 「書体ボタンを使う」
12 コピー (コピー)	入力済みの文字をコピーします。 参照 「文字をコピーする」 シフト+ コピー (＝貼付け) コピーした文字を貼り付けます。 参照 「文字を貼り付ける(ペースト)」
13 復活 (復活)	削除した文字や文章をもとに戻します。 参照 「削除した文字をもとに戻す(復活)」 シフト+ 復活 (＝環境設定) おすすめ印刷、おすすめフォーム、画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。 参照 「環境設定を変更する」
14 文字ボタン	文字を入力します(T な E さ P わ R た A など)。 参照 「文字入力をはじめる前に」
15 シフト (シフト)	機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。 文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。
16 削除 取消 (削除、取消)	カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。 参照 「文字を削除/挿入する」 シフト+ 削除 取消 (＝全消去) 文章を消去します。 参照 「すべての文章を消去する」

17 選択 改行（選択、改行）	機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。 参照 「新しい行を作る」 シフト + 選択 改行（＝改段落） 新しい段落を作ります。 参照 「新しい段落を作る」
18 ON/OFF（電源）	電源をON/OFFします。 参照 「4. 電源を入れる」
19 ホーム（ホーム）	メニュー画面やフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。 USBケーブルでPCと接続しているときは、パソコンリンク画面に戻ります。
20 入力切換（入力切換）	入力状態を「かなめくり→ABC→ローマ字」の順で切り換えます。 参照 「入力状態を切り換える」 QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かなめくり→ABC【半角】→ABC」の順で切り換えます。 「ABC入力、ABC【半角】入力」時のみ シフト + 入力切換（＝小文字ロック） 小文字入力状態に切り換えます。 参照 「英字を入力する」
21 あ・ア・A（無変換）	反転表示のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」 シフト + あ・ア・A（＝文字変換/漢字検索） 反転表示のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」 仮確定文字がないときは、読みのわからない漢字を検索します。 参照 「読みのわからない漢字を入力する」
22 変換 スペース（漢字変換、スペース入力）	反転表示のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。 ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」
23 ← ↑ ↓ →（カーソルボタン）	カーソルや選択候補を上下左右に移動します。 参照 「カーソルボタンの使いかた」 ATOK予測入力画面では ↑ ↓ で予測候補を選択します。 ATOK変換画面では ← → で変換対象の文節長さを変更し、 ↓ で確定します。 参照 「文字入力をはじめる前に」 シフト + ← ↑ ↓ →（＝カーソルジャンプ） カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。 参照 「カーソルボタンの使いかた」 ATOK変換画面では変換対象の文節を切り換えます。

	参照 ☞「文字入力をはじめる前に」
24 記号 (記号)	記号の入力や外字を登録します。 参照 ☞「記号(絵文字)を入力する」 シフト+ 記号 (＝絵文字) 絵文字やイラストを入力します。 参照 ☞「記号(絵文字)を入力する」

ディスプレイの見かたとはたらき

テキスト画面の見かた



1 行頭マーク(1 2 … ☒ 、[1] [2] … ☒)	行頭に表示され、何行目かを示します。 1 、 2 は印刷できる行を表し、[1] 、[2] はその行に文字がまだ入力されていない(確定していない)ことを表しています。 ☒ 、☒ は印刷できない行を表しています。 ☒ が表示されているときは、印刷できません。 参照 ☞「テープ幅と印刷できる行数について」
2 確定文字(例:123AB)	入力が確定した文字で、印刷されます。
3 仮確定文字(反転表示)(例:あい)	仮確定の文字で、印刷されません。 変換 スペース で漢字、カタカナ、英数字に、 あ・ア・A でひらがな、カタカナ、英字に変換できます。
4 点滅文字	かなめくり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。 点滅表示の文字は、印刷されません。
5 文字モード指定マーク(▶)	文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの機能を変更すると表示されます。 参照 ☞「編集を指定する」
6 カーソル(▏)	操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入・削除できます。 参照 ☞「カーソルボタンの使いかた」
7 フルメモリーマーク(◀)	入力可能文字数(約175文字)をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。
8 印刷情報	セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」

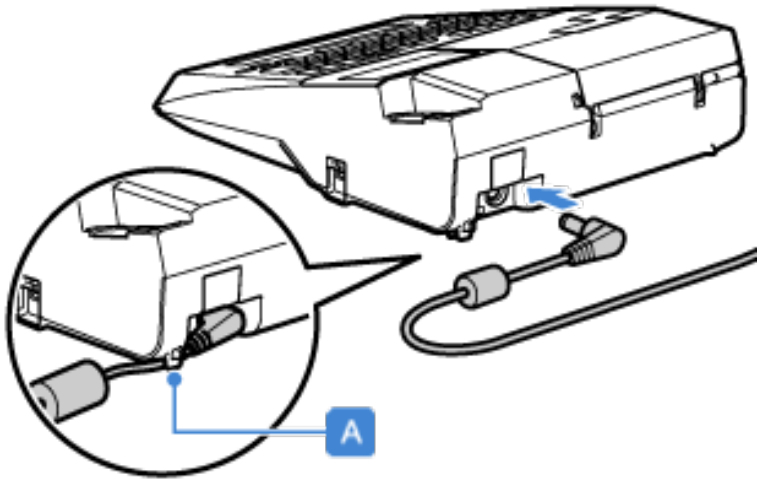
9 印刷イメージ	印刷したときのイメージを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」
10 自動カットインジケーター	自動カットがおこなわれるとき点灯します。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
11 ハーフカットインジケーター	ハーフカットがおこなわれるとき点灯します。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
12 定長インジケーター	定長印刷が指定されているときに点灯します。
13 地紋インジケーター	地紋印刷が指定されているときに点灯します。
14 外枠・表組インジケーター	外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
15 囲み・網インジケーター	囲みや網が指定されているときに点灯します。
16 たて書きインジケーター	「たて書き」が指定されているときに点灯します。
17 よこ書きインジケーター	「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
18 文字サイズインジケーター	カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。 数字はポイント数(pt)を表しています。 ※1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
19 ローマ字入力インジケーター	「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
20 かなめくり入力インジケーター	「かなめくり入力」状態のときに点灯します。
21 ABC入力インジケーター	「ABC入力」状態のときに点灯します。 QRコード入力時の「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。 参照 ☞「QRコードを入力する」
22 小文字入力インジケーター	シフトを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。 参照 ☞「英字を入力する」

使う前の準備

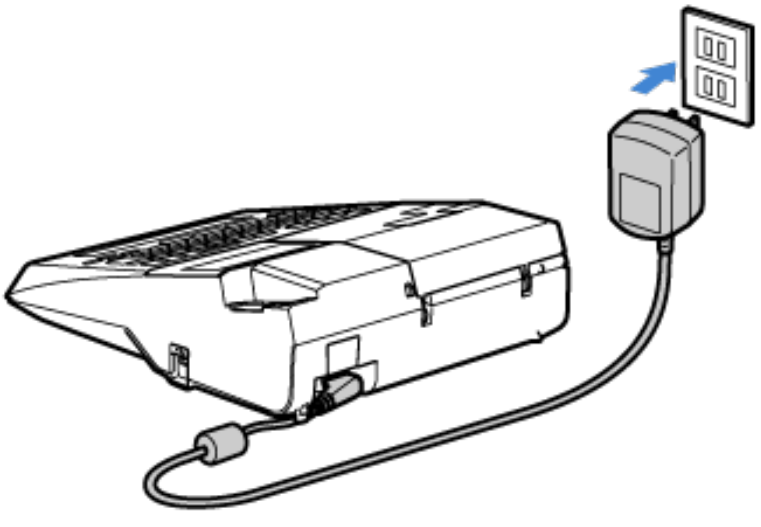
1. ACアダプタを接続する

専用のACアダプタ(AC1116J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

1 ACアダプタのプラグを本機背面のACアダプタ差し込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイド(A)を通す



2 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



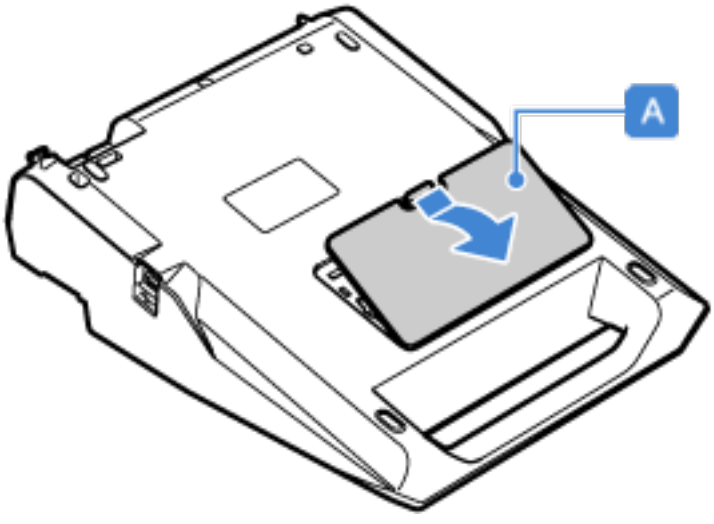
注意

・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC1116J)をお使いください。
・差し込みが不十分だと電源が入らない場合があります。
・使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
・ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げると、断線することがあります。
・プラグのショートなどで、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
・ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本:別売)をセットします。
外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

1 電池カバーをはずす

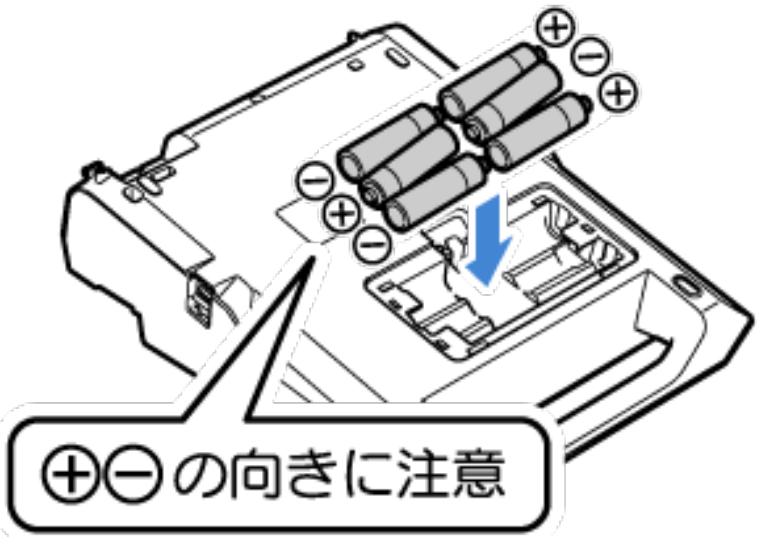


レバーを手前に引きながら電池カバー(A)を持ち上げてはずします。

注意

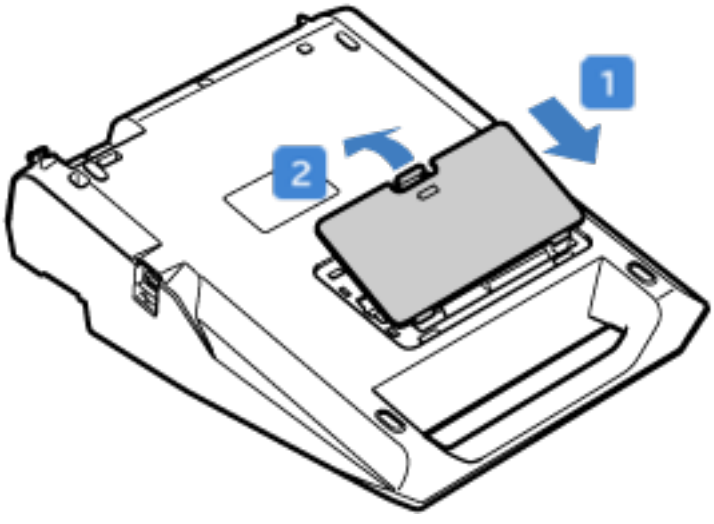
・必ず、電源を切ってからおこなってください。

2 電池を入れる



電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)を入れます。

3 電池カバーをはめる



電池カバーの上の爪を本機のミゾに合わせ(1)、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます(2)。

注意

・本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の電池は使用できません。
・電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC1116J)をお使いください。
・ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
参照 ☞「電池種類を設定する」
・本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。
・充電式ニッケル水素電池について
ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。
ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。
・ ⊕ ⊖ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。 ⊕ ⊖ 極と充電器の端子を乾いたやわらかい布でていねいにふいてください。
・お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので、異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
・電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります(メモリー効果といいます)。
・メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
・ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
・お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
・ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので、新しい電池をお買い求めください。
・寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

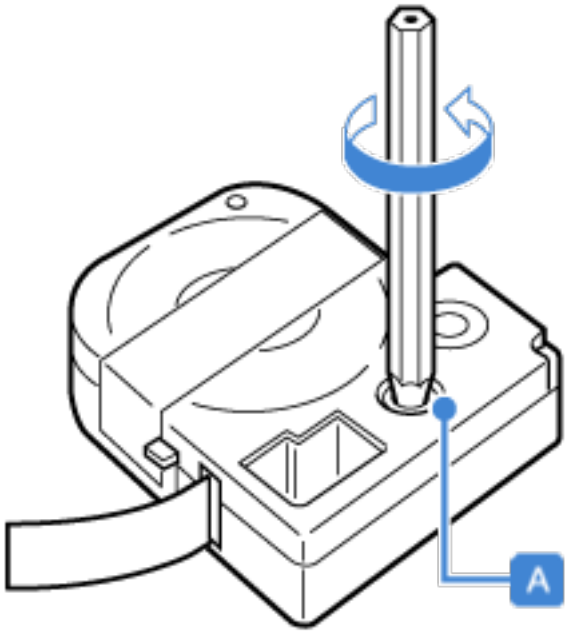
・不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄せずに最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページ（https://www.jbrc.com/）をご参照ください。

MEMO

・電池での印刷の場合、ACアダプタ使用時より印刷速度が遅くなります。
・広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
・電池が消耗すると、印刷速度が低速になります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
・新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、専用のACアダプタ（AC1116J）を利用することをおすすめします。
・ご使用後は必ず電源を切ってください。
・ディスプレイのバックライトをオフにすると電池を節約できます。
参照 ☞「バックライトの切り換え」
・長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
・寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

3. テープカートリッジをセットする

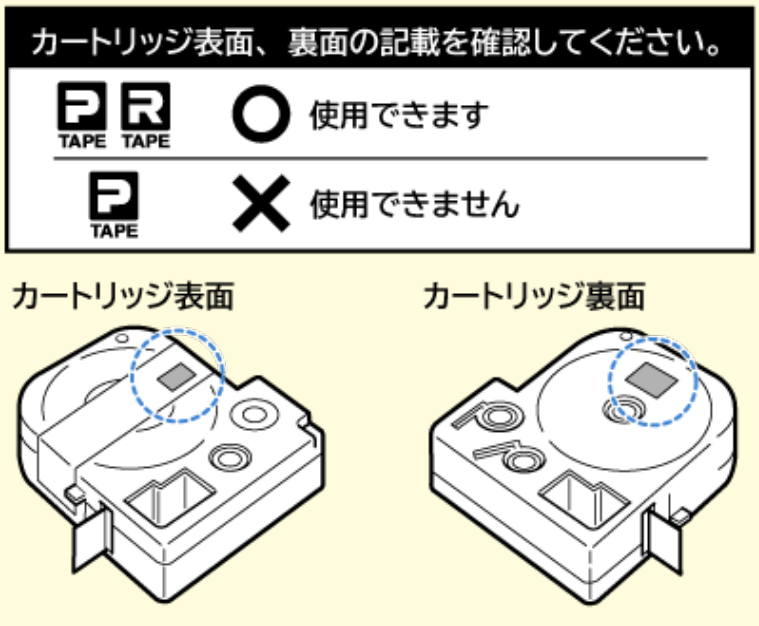
1 インクリボンのたるみを取る



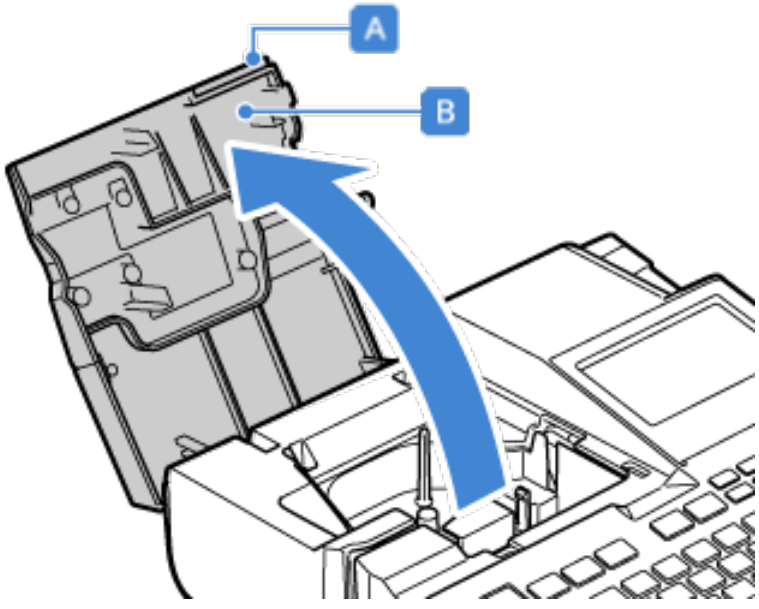
セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。

注意

・本機では、R TAPE マークのついたテープカートリッジを使用してください。その他のテープカートリッジを使用すると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



2 上カバーつまみ部分を持って、上カバーを開ける

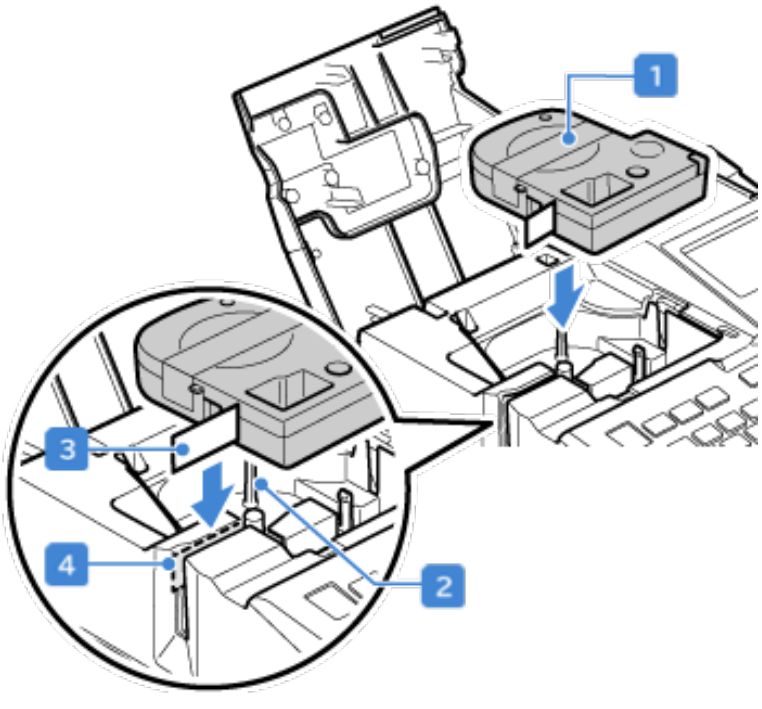


上カバーつまみ部分(A)を持ち上げて上カバー(B)を開けます。

注意

・必ず、電源を切ってからおこなってください。
・上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
・上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

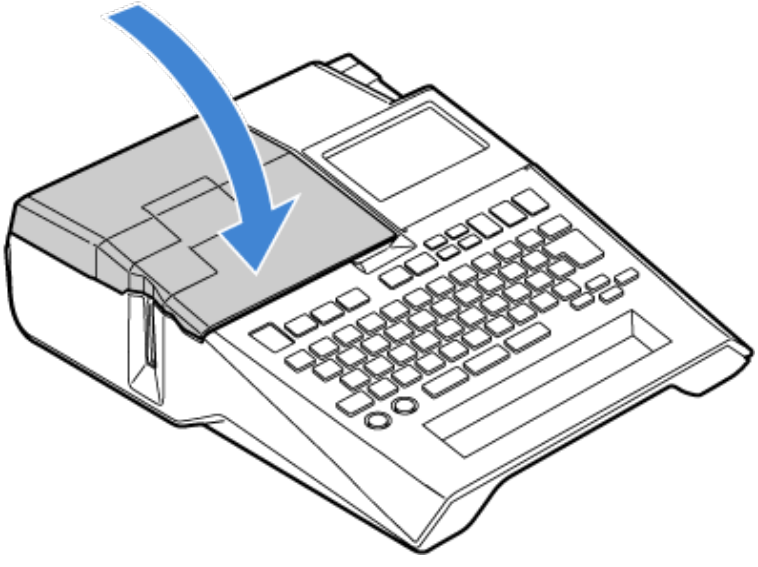
3 テープカートリッジをセットする



セットするテープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして(1)、右上の穴に本体のガイドピンを通し(2)、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや、新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし(3)、テープを「テープ通路」のミゾに通します(4)。

4 上カバーを閉じる



上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。

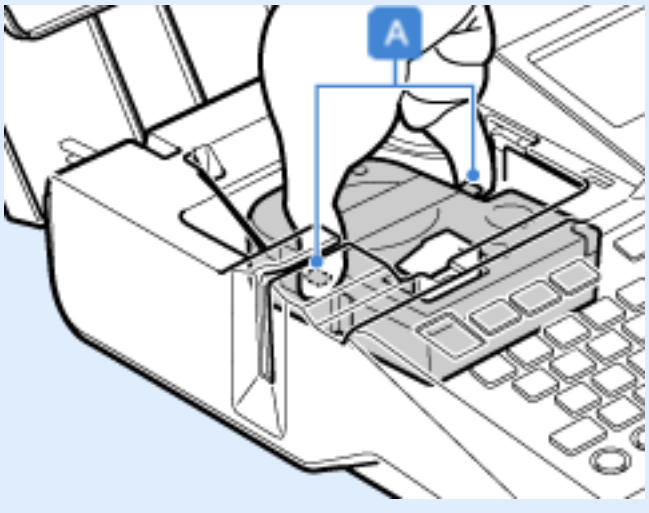
注意

・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
・上カバーはしっかり閉じてください。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

・美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されていますが、上カバーを開けると同時にテープの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部(A)に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



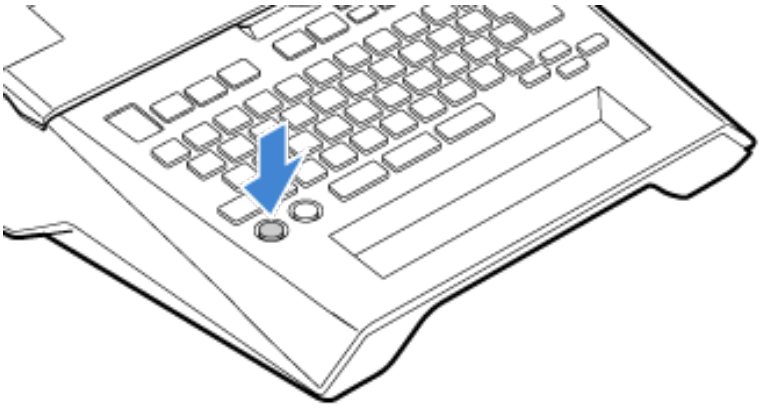
注意

・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
・本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照 ☞「テープ幅と印刷できる行数について」
・テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
・テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
・テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
・本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「非対応テープ」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

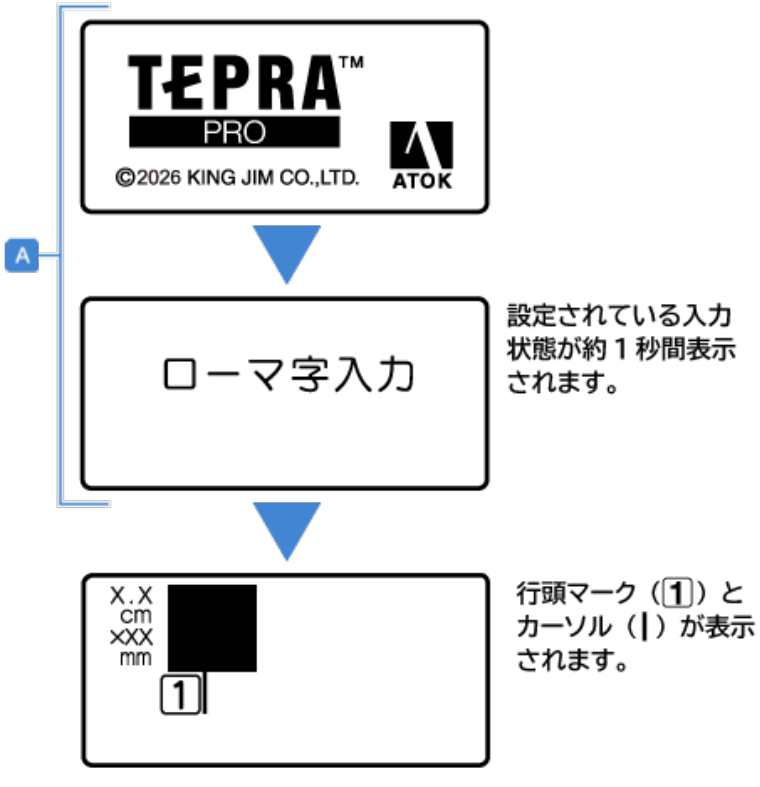
4. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。
・ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
・電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

1 ON/OFF を押す



電源が入るとバックライトが点灯し、タイトル画面（ A ）が表示されます。



すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照 ☞「テキスト画面の見かた」

「環境設定」で「おすすめフォーム」を表示するに設定している場合は、一部テープで、タイトル画面の後にビジネスフォームのメニューが表示されます。

参照 ☞「おすすめフォームを設定する」



USBケーブルでPCと接続している場合は、表示および操作手順が異なります。

参照 ☞「PCに接続して使う」



MEMO

オート・パワーオフ

・電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。ON/OFF をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。
外字データの作成、修正をしているとき、テープが終了して印刷再開が可能な状態またはパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能ははたらきません。使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

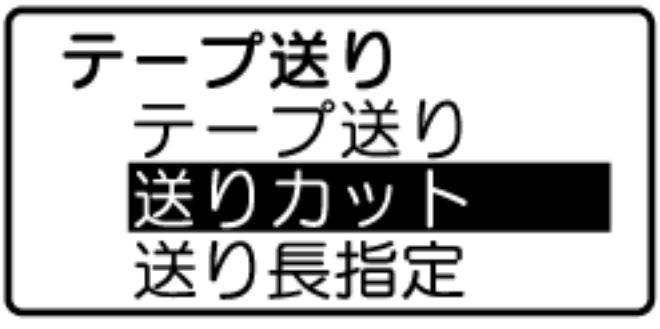
5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

1 シフト を押しながら 印刷 (＝テープ送り)を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ



3 選択 改行 を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約19mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます(一部テープを除く)。

注意

・「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
・自動カットインジケーターが消灯しているときは、「送りカット」はできません。
参照 ☞ 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

MEMO

・「送り長指定」を使うと、指定した長さ分だけテープ送りすることができます。
参照 ☞ 「指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷する(りぼん連続印刷)」－「指定した長さでテープ送りをする(送り長指定)」
・ヘッド・クリーニングテープでは「テープ送り」をおこなったあと、続けて「テープ送り」をおこなうことができます。
参照 ☞ 「ヘッド・クリーニングテープ(別売)を使う」

6. 使い終わったら電源を切る

1 を押す

電源が入っている状態で を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

2 専用のACアダプタ(AC1116J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

注意

・電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
・長時間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、電池を本機から取りはずしてください。
・本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
・電源は必ず を押して切ってください。入力されているデータが正しく保持されない可能性があります。

2026年11月 第1版